

いきいき人生

～輝くシルバー世代～

第3回



鶴見 ナツ子さん(87歳)
郷東町

【プロフィール】

鶴見さんは下笠居で5人兄弟の末っ子として生まれました。親類には教職につかれています方が多く、また、お父さんも先生だったことから、自然と同じ道を志すようになり、女学

校卒業後は幼稚園の先生になりました。

親のきめた縁談にしたがい鶴見家に嫁がれたときは、結婚当日にはじめて花婿と顔を合わせたとのことですが、これは当時ではごく普通のケースだったようです。

鶴見家は農業を手広く営んでいましたので、農繁期には、朝早くから夜遅くまで農作業に従事していました。時にはご主人に代わってトラクターを運転したり、近隣の農作業を手伝うなど、活動的なお嫁さんだったようです。農業の傍ら電話局の委託業務(電話清掃)や、不動産会社の事務などを長年にわたってがんばってこられました。

最愛のご主人が他界された後は、「忙しかったけれど楽しかった」ご主人との思い出を糧に女手一つで鶴見家を支えてこられました。

また、地域高齢者のため、郷東地区老人会(親友会)の会長を長年にわたり務められました。100名前後の大世帯ですが、さまざまな活動を通じて、会員(高齢者)のいきがいづくりに貢献されました。鶴見さんからは不思議な存在感(カリスマ性?)が感じられ、「会長はこの人しかいない」、ということはほぼ全員が暗黙のうちに認めていたようでした。現在は、老人会の相談役として、地区の高齢者仲間と手芸の会をたちあげ、毎年干支(えと)の置物など、ふれあい交流事業出展のための作品づくりにも専念されています。

趣味は花菖蒲づくり、カラオケ、ゲートボールなどと多彩で、カラオケは、はしりのころから通いつめ、趣味の花菖蒲を会場にもちこんで雰囲気づくりをして、歌手気分でも歌ったこともあったとのこと。ゲートボールは10年以上も現役で活躍し、全国大会にも出場した腕前です。一時体調をくずして、ゲートボールからとおざかっていましたが、体調が回復するにつれて、もって生まれた活動的な気質からか自然と郷東第二公園へと足がむくそうです。

【生活信条】

つぎのことに、とくに気をつけているとのこと。

- ・大勢の人と笑顔で接すること。
- ・はっきりと自分の気持ちを伝える。
- ・できるだけいろいろなところでかけていく。

今も、良き家族にかこまれ幸せで健やかな日々を過ごされています。自宅では、花菖蒲を栽培されており、玄関一面に花菖蒲の鉢が所狭しとおかれています。

【取材：串田悦子 西谷勢津子 馬場紀夫】

つるうち

広報

第5号

写真特集

2013
7

発行：弦打校区コミュニティ協議会
TEL.882-0285

つるうち.ネット <http://www.tsuruuchi.net/>

平成25年7月号

弦打地区の人口(平成25年6月1日現在) 合計10,616人 男5,234人 女5,382人 世帯4,859世帯

弦打校区コミュニティ協議会部会紹介

弦打校区コミュニティ協議会には7つの部会が組織されています。各部会はコミュニティプランを定め、それに沿った事業計画を立てて活動しています。

今回、活動を広く地域の皆様にお知らせし、その内容に関心を持っていただくため、各部会の現況を写真と記事でご紹介します。

青少年育成部会

松浦 一郎 部会長

青少年育成部会は、弦打校区青少年健全育成連絡協議会と協働して、青少年の健全育成活動や非行防止活動に積極的に取り組んでいます。

(1) 校区内夜間巡視パトロール

連合自治会や小学校PTAをはじめ校区の各種団体よりご支援をいただき、主に、公園や神社など子どもが集まりやすい場所を重点にパトロールしています。

(2) 非行防止(万引き防止)活動

子どもたちへの規範意識を高めるとともに、地域全体で万引き防止活動に取組むために、校区内にあるお店に、のぼりやステッカーの貼付などのご協力をいただいています。

(3) 弦打地区ふれあい交流事業への参加

(4) 餅つき大会

三世代交流事業の一環として、毎年12月にコミュニティセンター駐車場を実施しています。

※今年は餅つき大会以外にも、行事を検討中ですのでお楽しみに!

※また「青色防犯パトロールカー」の導入も検討中です。



交通安全防犯部会

池原 利加 部会長

私たち「交通安全防犯部会」では、交通安全母の会より、1年ごとに担当表にもとづき、選任された役員が引き継ぎをする為、毎年、部会員が新しくなります。

他の部会と違い少人数で、現在5名で活動中です。部会のテーマは「だれもが安心できる安全なまちづくり」です。

テーマは私たちがだれもが暮らしていく上で大切に重要なものです。皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いします。



保健福祉部会

松下 邦雄 部会長

保健福祉部会は、高齢者福祉、母子児童福祉、障がい者福祉を軸に、当面は「福祉」に重点をおいた活動を行うことにしています。高齢者福祉活動としては、「高齢者のいきがいづくり」が大きな柱となりますが、その一つとして、「いきいき人生～輝くシルバー世代」をテーマとして、高齢でありながら、今もなお活劇とした人生をおくっておられる先輩の生活信条や人生観などを取材し、広報紙上に紹介するという活動です。地域の高齢の方々やこれから高齢を迎えられる方々に、いきいきとした人生をおくっていただく上での一助としてほしい、との思いを込めて企画したものです。

取材チームは4名で編成するようになっていますが、取材が不慣れなため、しばしば、はなしが脱線していき、本線に戻すのに苦労しながら取材しているというのが実情です。

写真は、郷土史に造詣の深い諏訪ユリ子さん(第2回目)を取材しているときのものです、いつの間にか本題をはなれて、取材チームが諏訪さんの得意分野についての講義を神妙に受けるにいたったときの一場面です。



環境衛生部会

佐々木 正富 部会長

① 弦打校区内耕作放棄地、管理放棄家屋等の実態調査について
校区内には、27箇所ほどの耕作放棄地があり、雑草が生い茂り、害虫の発生や特に幼児・高齢者には、ぜん息・花粉症等の健康被害が懸念され、不法投棄の場にもなっています。

これらの箇所を地図に表記し、関係各所にファイルで提出、早急な対処・ご指導をお願いしてまいりました。

② 木太鬼無線開通に伴う県道交差点の交通量の変化について
現在、木太鬼無線と産業道路の交差点で1日当り約20,000台の交通量があり、今後木太鬼無線が開通すると25,000台以上の交通量が推定されます。特に朝の学童登校時間帯に集中し、県道西側を北から南へ渡る横断歩道は、上り車両の左折(西向き)が多い為、大変危険な状況にあります。

これらを考慮し、横断歩道橋の設置、信号機の時間帯変化等を関係団体と共に調査・検討してまいります。



岩清尾山に登ろう



生涯学習部会では、3月10日石清尾山への登山を実施しました。親子連れなど25人が参加。御殿橋から切通越へ。そこから猫塚、姫塚の古墳群へ。途中、天候が急変。雨が降り出し、気温も低下。全員、雨具に着替え、山頂付近の東屋で昼食。展望台からの眺めも早々に下山。でも、これもいい体験。雨にもめげず、子どもたちの元気な声が、帰ってくるまで聞こえていました。

岩田神社「藤まつり」

平成25年4月26日(金)～5月5日(日)



恒例となっている藤まつりが今年も開催されました。今年は期間を通して藤が見頃で、たくさんの方にいろいろな方面から見学に来ていただきました。期間中、有志によるお茶席や「つるの会」による踊り等も披露されました。

編集
後記

広報つるうち 写真特集 第5号発刊について

今回はコミュニティ協議会の各部会の紹介を中心に編集しました。各部会の活動状況をご理解いただき、皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。これからも紙面の充実に向けて努力していきたくと考えています。

【弦打校区コミュニティ協議会 総務広報部会】

防災部会

向井 盛泰 部会長

弦打地区は香東川と本津川に挟まれ、津波の遡上が危惧される地域です。また、郷東町の一部は埋立地であり液状化の危険性が高いことも示されています。

防災部会では、自主防災、自治会の方々等に参加していただき、防災関連の位置情報を地図ソフトに入力して防災マップを作成したり、様々な防災情報をファイルにまとめています。

また、弦打地区民生児童委員協議会でも、災害発生時に活用できるように、一人暮らし、寝たきり、障がい者及び、高松市災害時要援護者の方を同じ地図ソフトに表記しています。



昨年12月9日には各種団体の協力のもと弦打地区全体の防災訓練が実施され、約1000人の参加があり、平成25年3月9日には防災部会の主催でコミュニティセンターにおいて防災講座を開き、約70名の参加がありました。

今後とも、地区内の各種団体と協働し、減災につながるような活動を継続して、皆様のご協力をいただきながら、地域の防災力を高めていきたいと思っています。

生涯学習スポーツ部会

川崎 正視 部会長

生涯学習スポーツ部会は、弦打の子どもから高齢者までの生涯学習やスポーツの振興に寄与し、地域みんなの福祉に少しでも貢献できたらと活動しています。現在、部会員は16名です。

部会は、主に次の3つの活動を行っています。

1つ目は、屋外での活動として「ふるさと学習探検隊」です。弦打の様々な場所を訪れ、歴史や人々の暮らしを歩いて探検します。今



ふるさと学習探検隊・浄願寺山

までに訪れたところは、猫塚ほか石清尾山古墳群、飯田の遍路道、新地・郷東、御殿、本村、半田池・友常池・高月池、浄願寺山です。

また、参加者の中に、里山ハイキングの希望者がいたことから、近在の里山ハイキングも実施しようと、平成25年

3月10日には石清尾山に登りました。

2つ目は、コミュニティセンター講座への協力などです。平成24年度は子どもたちを対象とした、竹とんぼ作りや昔ながらのカレー作りと自然体験の講座に関わりました。今年度は、コースター作りなどを計画しており、子どもたちとふれあいます。

3つ目は、「弦打風土記」(昭和44年刊)の続編を出版することです。「ふるさと学習探検隊」を通して地域を知るなどして、少しずつ進めて行き、何年か後の完成を目指しています。

生涯学習スポーツ部会は、毎月第3月曜日の19時から、弦打コミュニティセンターで定例会を開いています。関わってみようと思われの方の参加をお待ちしています。

総務広報部会

別枝 美津子 部会長

総務広報部会は、住みよさを実感できるまちづくりを基本に、年2回「広報つうち」を発行しています。部会に編集委員会を設け、各種団体や各部会の活動、コミュニティセンターでの行事、子どもから年配の方たちの頑張っている姿を取材してもらい、明るく楽しい記事をお伝えします。皆さまの取材協力に感謝します。

また、市のゆめづくり推進事業について、各部会と連携し取り組んでいきます。



平成25年5月19日(日)

保育所

幼稚園

平成25年5月22日(水)

今年は雨天の為、残念ながら自治会参加は午前中のみの実施となりました。



選手宣誓



ちびっ子忍者



徒競走



玉入れ



徒競走



ボール運び競争

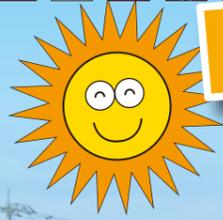


輪投げ競争



優勝 小坂自治会

優勝 相作自治会



綱引き



弦打小学校は、当日雨天のため中止となった競技を22日に改めて実施しました。平日にもかかわらず、たくさんの保護者の応援もあり、子供たちは生き生きとはりきって演技をし、練習の成果をいかに発揮していました。

いろいろなスポーツ
~部活動をイメージして~



源平合戦

